



# 葬送と墓制の現在

□オンライン開催

死生学研究所ホームページから  
お申込みください

□お申込み締め切り

2024年11月13日(水) 17時

□先着 100名様

□お問合せ 死生学研究所 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□参加費 無料

## 第6回連続講座

# 小村明子

(こむらあきこ)

コメニウス大学  
文学部専任講師

11月16日(土)

16:20-17:50

## 日本におけるイスラーム霊園開設の 道程から見る日本人の死生観

### ■プロフィール

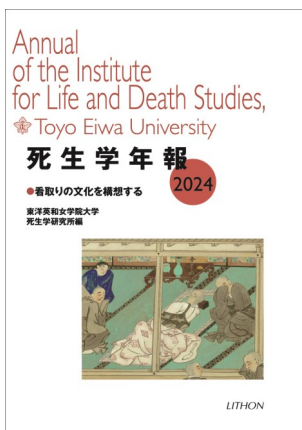
専門は宗教人類学。日本のイスラームについて、異文化理解など多角的な視点から研究している。近年では、日本におけるイスラームの歴史を概観し、日本人の宗教性を分析に取り入れて日本人がどのようにイスラームを理解してきたのかを研究している。

### ■主要業績

単著書に『日本とイスラームが出会うとき：その歴史と可能性』（現代書館、2015年）、『日本のイスラーム：歴史・宗教・文化を読み解く』（朝日新聞出版、2019年）。論文に“Is Halāl Diversified? : The Situation of Japan's Halāl Business and Tourism in the Post-COVID-19 Period”, *Journal of Applied Sociology*, No.66 (『立教大学社会学部紀要 応用社会学研究 66号』), 2024, pp.229-242.などがある。

### 内容紹介：

現在、人手不足から日本各地で多くの外国人が雇用されています。それは、地域社会に外国人を受け入れると同時に彼らの宗教文化も受け入れることを意味します。例えばイスラームのような住民たちがこれまで触れたこともない宗教文化が地域に広がると様々な問題が起きるようになります。具体的に、モスクの建設などイスラーム的な環境を整備する際には地域住民との対話が必須です。とりわけ、死生観にかかわるイスラーム霊園の開設にあたっては揉め事が発生しやすく、事実、一部の地域では霊園開設において解決困難な問題となっています。何が問題なのか、その根本的な原因を探るために過去の失敗例と、日本で最初のイスラーム霊園となった山梨県甲州市塩山にあるイスラーム霊園開設の歴史について見ていきます。



東洋英和女学院大学死生学研究所編

## 死生学年報2024

「看取りの文化を構想する」

◆書店にて定価2,500円+税でご注文、ご購入いただけます

◆お問い合わせ 東洋英和女学院大学 死生学研究所

shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

お申込みはこちら



### 〈予告〉

◇第7回〈公開〉連続講座 12月14日(土) 16:20~17:50

新島典子(ヤマザキ動物看護大学 動物看護学部教授)